



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社シグマクス 上場取引所 東
 コード番号 6088 URL <http://www.sigmaxyz.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 倉重 英樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 田端 信也 TEL 03(6430)3400
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業損失		経常損失		四半期純損失	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,625	—	△227	—	△227	—	△249	—
26年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純損失	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△12.59	—
26年3月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成26年3月期第1四半期においては四半期財務諸表を作成していないため、平成26年3月期第1四半期の数値及び平成27年3月期第1四半期の対前年四半期増減率を記載しておりません。
 2. 平成27年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	4,777	3,848	80.6	194.38
26年3月期	5,863	4,097	69.9	206.97

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,848百万円 26年3月期 4,097百万円

- (注) 当社は、平成25年8月16日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。また、平成26年4月1日付で普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期（予想）	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,530	△2.7	200	△49.8	200	△49.8	130	△67.4	6.57
通期	9,700	0.2	910	9.8	900	9.9	600	△17.1	30.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	19,800,000株	26年3月期	19,800,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	－株	26年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	19,800,000株	26年3月期1Q	－株

(注) 当社は、平成25年8月16日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。また、平成26年4月1日付で普通株式1株につき4株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付書類3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済対策や金融政策の効果により、円安・株高傾向の中、企業収益や個人消費が上向きになるなど、景気は緩やかながら回復基調となりました。しかしながら、新興国経済の減速等、世界経済の下振れ懸念が残り、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。このような経済環境に加え、日本企業を取り巻く市場環境は、グローバル化の進行、デジタル化の急速な進展、またサービス化への対応要請など、経営のあり方そのものの見直しを迫られる変化が続いています。シグマクスはこのような事業環境の中で、当社が目指す姿である「戦略実現のシェルパ」として、お客様の価値創造実現に向けて、戦略立案からビジネスモデル策定、ビジネスプロセス設計、事業運営体制及びITシステムの構築までを手掛け、目指す成果を実現するまでを一貫して支援するワン・ストップサービスを提供するべく、取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間においては、当社にとって最も重要な経営資源であるコンサルタントの拡充に関して、新卒36名、経験者7名を採用し、積極的な育成計画を実行しております。また、日本企業のASEAN諸国及びインドを中心とした新興国市場への進出と同市場における日本企業の競争力向上を支援するため、本年5月にシンガポールに現地法人(SIGMAXYZ Singapore Pte. Ltd.)を設立し、市場調査を開始いたしました。加えて、市場の変化に対応して新しいテクノロジーの活用に移行するべく、システム構築において、カスタム開発からクラウドサービスやアプリケーションパッケージを活用するアプローチへのスキル転換を継続しております。

リアルビジネス(*1)に関しては、本年6月にグローバル・サプライチェーン・マネジメントの仕組みをクラウドで提供する米国のOne Network Enterprises Inc.と戦略的パートナーシップ契約を締結し、同社製品・サービスの日本における販売代理および関連コンサルティングサービスの提供を行う体制を整備しました。

他方、新しいテクノロジーを活用したオフリング(*2)の開発に想定以上の時間と労力がかかり、前事業年度末における受注残高の不足を解消するだけの十分な営業活動を行うことができませんでした。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高1,625百万円、営業損失△227百万円、経常損失△227百万円、四半期純損失△249百万円となりました。

(*1) 顧客企業やビジネスパートナーと連携し、付加価値の高いサービスを提供できる分野に対して提携あるいは投資を行い、事業として運営するビジネス。クラウドサービス提供や、ジョイント・ベンチャーの設立、ジョイントビジネスの推進、インキュベーション等を想定。

(*2) 開発中のオフリング

	オフリング名	概要
1	Global Supply Chain Planning (グローバル・サプライチェーン・プランニング)	クラウド型サプライチェーン・プランニング。共通のプラットフォームを、複数企業が利用することで、企業間の計画情報共有リードタイムをゼロにすると同時に、各社の販売管理、在庫管理、購買機能と連動することで、流通在庫を含めた削減及び販売機会ロスの低減を実現する。
2	Real Digital Store Management (リアルデジタル・ストアマネジメント)	小売業において、各社が有する実店舗情報とEC情報を統合管理し、効率的な在庫管理や顧客管理を実現する。さらに顧客のもつモバイル端末を重要な顧客接点と捉え、新しいショッピング体験を提供する。
3	Heuristic Work Environment (ヒューリスティック環境構築)	社員の創造性と組織のイノベーション力を高めるために、組織の壁をこえた活動(プロジェクト)、社内に保有する多種多様な人財の能力、経験(ダイバーシティ)の可視化、またいつでもどこでも情報や社員にアクセスできるデジタルモバイルワークプレイスなどを実現する。
4	Global Human Capital Management (グローバル人財マネジメント)	クラウド型統合人財管理システムの活用を通じ、TCOを大幅に削減すると同時に、グローバル人財の効率的なマネジメントを実現する。
5	Business Management 3.0 (ビジネスマネジメント3.0)	市場変化に即応するグローバル経営管理に必要な各種経営情報を、リアルタイムに提供する未来予測型の経営管理システム。さらにモバイル環境でのビューアー機能を提供することで、手計算やメールでの情報共有の手間をゼロにすると同時に、ペーパーレスマネジメントを実現する。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産は3,890百万円となり、前事業年度末と比較して1,203百万円減少いたしました。これは主に、売掛金が989百万円減少したこと、現金及び預金が309百万円減少したことによるものであります。また、固定資産は886百万円となり、前事業年度末と比較して117百万円増加いたしました。これは主に、ソフトウェアが95百万円増加したこと、海外現地法人設立に伴い関係会社株式が28百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、総資産は4,777百万円となり、前事業年度末と比較して1,085百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債は928百万円となり、前事業年度末と比較して836百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が686百万円減少したこと、賞与引当金が279百万円減少したことによるものであります。また、固定負債はリース債務の減少により0円となりました。

以上の結果、負債合計は928百万円となり、前事業年度末と比較して836百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は3,848百万円となり、前事業年度末と比較して249百万円減少いたしました。これは、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月9日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,690,341	2,380,498
売掛金	1,815,916	826,312
仕掛品	15,942	15,942
前払費用	69,138	158,972
繰延税金資産	499,676	479,855
その他	3,110	28,935
流動資産合計	5,094,125	3,890,518
固定資産		
有形固定資産	171,307	163,459
無形固定資産	446,950	542,372
投資その他の資産	150,744	181,133
固定資産合計	769,002	886,966
資産合計	5,863,127	4,777,485
負債の部		
流動負債		
買掛金	814,454	127,938
リース債務	3,528	1,891
未払金	318,794	387,534
未払法人税等	41,955	4,756
預り金	45,421	144,783
賞与引当金	540,962	261,939
流動負債合計	1,765,117	928,843
固定負債		
リース債務	55	—
固定負債合計	55	—
負債合計	1,765,172	928,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,373,070	2,373,070
資本剰余金	623,070	623,070
利益剰余金	1,101,815	852,501
株主資本合計	4,097,955	3,848,641
純資産合計	4,097,955	3,848,641
負債純資産合計	5,863,127	4,777,485

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	1,625,260
売上原価	1,275,059
売上総利益	350,201
販売費及び一般管理費	577,376
営業損失(△)	△227,175
営業外収益	
受取利息	78
雑収入	71
営業外収益合計	150
営業外費用	
支払利息	29
営業外費用合計	29
経常損失(△)	△227,054
税引前四半期純損失(△)	△227,054
法人税、住民税及び事業税	2,439
法人税等調整額	19,820
法人税等合計	22,259
四半期純損失(△)	△249,314

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、コンサルティング業を主な事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。